

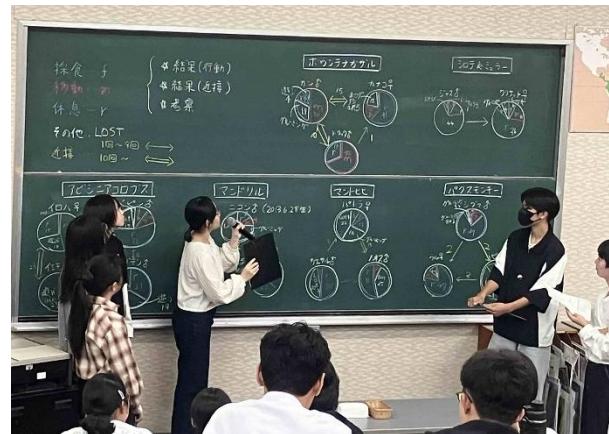
R7 理数コース校外実習（3年生）

モンキーセンター実習 霊長類の行動観察

10/15 水にモンキーセンターで実習をしてきました。モンキーセンターの赤見さんのレクチャーのもと、特定の固体の行動を30分間観察し、その行動から個体間の関係性やその種の特性、家族の在り方などを考察しました。ただ眺めて「かわいい」「興味深い」と表面的に鑑賞して通り過ぎてしまいがちな動物の様子を詳細に観察する体験を通して、身の回りのヒト以外の生物や自然環境に対する理解を深め、ヒトの行動やあり方を俯瞰して見る視点を獲得できたのではないかと思います。



行動観察の様子



発表の様子

生徒の感想

実際に研究者の方々がやっている行動記録の取り方について知り、また、実践することで、研究者の方々が記録中に注目していること、記録から得ていることを学ぶことが出来た。また、30分の行動観察はかなり集中力を伴うもので、それぞれの行動が何を意味しているのかを見極めることは、かなり知識がいるということを改めて実感した。

チンパンジーがすごいスピードで数字を押して動画に衝撃を受けました。一つを深く学べば他の分野も深いことがわかるという言葉が深いなと思いました。

人間が上だという考えが間違っていて、共通の祖先から枝分かれした先がチンパンジーなのか人間なのかというところが印象に残っている。どちらにせよ何かが優れているときは何かを犠牲にしているという部分があるのだと思った。

猿をじっくり見る機会はほぼないのでいい経験になった。またウォレス線について教えて貰い家に帰ってから調べたら全く未知のもののような知っているようなもので非常に興味深く、生物学に興味を持てた。